

4月・5月掲載予定 士会公式ライン・インスタグラム をチェック！

小松 成輝氏 (南国中央病院)



仕事のこだわり

《患者さんはセラピストを選べない！》
サーフィンなど多趣味な小松さんです！



中井 智樹氏 (土佐病院)



仕事で大切にしていること

《患者さんと全力で一緒に楽しむ》
子育て奮闘中！パパさん頑張れ！



皆さまのご意見を聞かせてください

掲載している記事の感想や
今後、取り上げてほしい記事など、
ご要望をお待ちしております。

アンケートフォーム



2026.3.27発行

発行：浅川 英則
編集：森 祐輔

よさこい にゅーす

一般社団法人
高知県作業療法士会ニュース



http://kochiot.com
高知県作業療法士会ホームページ

最終巻

ご愛顧いただき、誠にありがとうございました。

次年度より、士会公式HP・LINE・インスタグラムへ掲載いたします!!
皆さまからのご意見、ご希望を募っています。
一緒に取り組んでいきましょう!



永国寺キャンパス 認知症カフェ

●地域のボランティアの方々へお話しを伺いました



認知症に関するたくさんの本がズラリ!



叔母が認知症で、以前は怒ってしまうこともあり
ました。今は声かけの仕方などもわかり、
一緒に買い物に行ったりしています。



ボランティアの方々コーヒーや
茶菓子を手際よく準備

旦那様が認知症を患い、ご夫婦でボランティ
アに参加されていました。お互いに思いやりが
たっぷり笑顔が素敵なお夫婦です。



“旦那さま”
今も人と交流をしたり、コーヒーを運んだり、
お手伝いをするのが楽しいですね。
“奥さま”
夫の変化にどのように対応しているのか困った
ときに助けてもらったり、相談もしやすいです。

●参加しているの方々にお話しを伺いました



(3人<みの女性の方々)
ここにきて、皆が楽しそうにしている姿を見
るだけでいい。外に出て、皆と楽しく話をす
ることが大切やと思います。

●運営の方へお話しを伺いました

上街・高知街・小高坂地域包括支援センター
廣田 淳也 氏 (理学療法士・生活支援コーディネーター)



今回のミニ講話は、“高知街の歩き方!”
どんなことでも気軽に相談できる
“高知県バリアフリー観光相談窓口”の
紹介

地域活動に
専門職種が
関わる期待

介護保険サービスだけではなく、ご利用者さま
の地域活動・社会参加の場へ繋がることができ
ると思います。また、“地域における人との交流
機会の大切さ”を知り、様々な地域で活動の輪を
広げるなど波及効果を期待しています。

取材者 広報編集部/柳本 由美(岡豊病院)・田上 大祐(仁淀病院)
認知症班/今城 可嗣(藤戸病院)・島田 光明(内田脳神経外科病院)

ふくしフェア2025! INイオンモール高知!!

子どもから大人まで、
気軽に福祉及び福祉の仕事に触れることができる体験型イベント!!
23個の体験・展示ブースがあり、スタンプラリーでガラガラ抽選会も!

2025年10月18日(土)

くるみボタン

(高知県作業療法士会広報戦略部)

参加者から「楽しい!」と
(^_^)色んな人に作業療法を
知ってもらい、「作業しながら
こういう楽しい仕事ができる
んだよ!」ということを広げ
ていきたい!



頑張れー!

高知県民の皆様によりよい福祉環境を提供し、
また理学療法を知ってもらい
理学療法士を目指すきっかけ
作りをしたいと思います!



義肢装具展示・握力測定

(高知県理学療法士協会)

とろみ体験

(高知県言語聴覚士会)

嚥下障害の説明や、姿勢など
変化させながらの試飲。
とろみ付き飲料の開発なども
進み、言語聴覚士にも注
目が向いてきている(^_^)こ
ういった体験などを通して
広く知ってもらい、目指して
もらいたい!



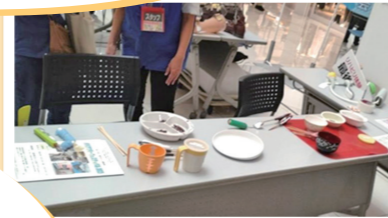
風味が生きてる!

自助具体験

(高知県作業療法士会)

「こんな物があるんだ!」

麻痺が出たと想像して自助具の箸を使用、
その使いやすさなどを体感!



福祉用具推進委員会 二宮委員長より

今年は、自助具・作業体験に加え、
理学療法士協会と協力して!ハビリ
体験として充実した内容となりました。
体験を通して作業療法士の仕事を知
ってもらい、役割を知ってもらう
機会となりました!



福祉専門職による 仕事にまつわるクイズ

福祉に興味を持ってもらえるよう、楽しめる回答
の選択肢にして、お子さんもくので、ひらがな
でわかりやすく♪家族で楽しく回答(^_^)



介護福祉士・介護支援専門員
栄養士・看護師・保育士
作業療法士 等等

選択肢はユーモアたっぷり!

最後はカラポン抽選!
結果は...
(ご想像にお任せします...)



ご家族・ご友人とも楽しみながら参加できるふくしフェア!
担当スタッフさんの熱い思いにも触れることができ、
背筋が伸びる思いです!
ご協力いただきました皆様、ありがとうございました!
是非、皆さんも一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか(^_^)!

取材・文責/藤原 ゆみ(青い空)
取材同行者/森 祐輔(だいいちリハビリテーション病院)
/渡邊 一規(Clover Kids)

生活支援コーディネーターの役割を知って協働しよう!

~暮らしやすい地域づくりの実現に向けて奔走するバイプレーヤー~



高知市春野地域包括支援センター
作業療法士 生活支援コーディネーター
宮上 竜輔氏

●役割・業務内容

① 資源開発

体操や集いの場の立ち上げ、生活上の困りごと支援など、住民主体の地域活動を支援

② マッチング機能

本人の楽しみや目標、生活歴を踏まえ、地域資源や必要なサービスへのつなぎ

③ ネットワーク構築

地域住民、各事業者、医療機関、民間企業など、多様な主体による支え合いの仕組みづくり

●自宅訪問

◆主任ケアマネジャー・看護師・社会
福祉士とともに生活状況を確認
課題は様々であり、必要なサービス・
機関へ繋げています。
日常的な見守りは民生委員と協力して
行うこともあります。

●マッチングに関して

◆生活歴や趣味を聴取し
活動サークルの紹介
などをおこないます
春野地区は100歳体
操の会場が22か所あり
ます。



●集いの場の課題

◆猛暑による外出機会減少によりフレ
イル増加の懸念
◆セルフマネジメント力を高めること
が重要
安心して外出や交流をしていただくた
めにも、熱中症や脱水症の注意点など健
康講座をおこなっています。

○生活支援コーディネーターを経験して変わったこと

◆“地域住民の方々との連携や互助による支え合いの支援”が大切
◆“地域資源を知っていただき、継続していく”ことが必要

○作業療法士の皆さまへメッセージ

生活支援コーディネーターの役割は、作業療法士が大切にしてきた
「生活」「作業」「その人らしさ」を、地域全体で支える仕組みづくり
とも言えます。ぜひ、生活支援コーディネーターを地域における協働
パートナーとして、地域の相談窓口として活用し、作業療法士の専門性
を地域生活の場で発揮していただければ幸いです。



執筆/広報編集部 田上 大祐(仁淀病院)
取材同行者/広報編集部 山本 浩明(高知整形脳外科病院)

in健康なんこく☆きらり☆フェア2025 & まほろばクラブ南国2025秋の感謝祭

日時: 令和7年11月15日(土)
場所: 南国市立スポーツセンター

参加者だけでなく、戦略部員も楽しんで啓発

「くるみボタン」作成が行われ、アンケートを通して作業療法(以下:OT)の啓発活動がおこなわれていました。

広報戦略部 市川氏よりお話を聞かせていただきました!

参画の目的は、OTの啓発と、地域の方の認知度などを知ることでした。その為、作業活動の体験を中心として、アンケートやパンフレット・グッズ配布をしながら啓発をおこないました。体験者からは、「OTの目的はこんな感じがや」など興味を持っていただき、何より楽しんでくれました。

OTの認知度は高まっていますが、何をやるのかは、ご存じない方が多く、今回のような体験型
ブースを通じて啓発することが大事だと感じました。

広報編集部 参加しての感想

防災や、脳年齢のテスト、筋力・滑舌のテストなど盛りだくさんで、ついでに防災食などもいただき、カバンを持っていなかったことを後悔しました(笑)。

士会ブースは、参加者も、部員の皆さんも一緒に楽しみながら作業活動をされていて、作業活動の持つ“力”をより感じました。

今回のような地域の健康に関わるイベントは、個人的にも、仕事の面でも、いろいろなことを“知れる”、“触れる”ことができる機会だと思いました。行かれたことのない方はぜひ参加してみてください。おすすめです(^_^)

取材・文責/澤田 直樹(いずみの病院)
取材同行・感想執筆/森 祐輔(だいいちリハビリテーション病院)